

地域包括支援センターだより



〈問い合わせ〉地域包括支援センター
(役場 健康推進課内) TEL(62) 8222

認知症は多くの症例で、医療と介護サービス利用など、適切なサポートを受けることにより、症状が改善安定しています。不安を長く抱えず、主治医や最寄りの介護サービス事業所、村の地域包括支援センターにご相談ください。



認知症を引き起こす代表的な病気

■アルツハイマー病

最も多い認知症疾患であり、70代以降の発症が多く、物忘れを主症状とします。病気の進行を完全に止めることはできませんが、症状を改善したり、進行を遅らせる薬があります。

■脳血管性認知症

脳血管疾患発症による、梗塞部位や血管破裂部位周辺の脳に十分な血液が送れなくなり、一部の脳が機能しなくなってしまうことが原因です。脳血管疾患は高血圧、糖尿病、心臓病の治療をきちんと行うことにより発症を予防することが可能です。

■レビー小体型認知症

物忘れ症状に加え、本来存在しないものが見える幻視や手足の震え、歩行障害などを伴います。

■前頭側頭葉変性症

65歳より以前に発症し、物忘れよりも人格や行動の変化、言葉が出なくなるなどの症状があります。

南阿蘇村商工会

■南阿蘇村・高森町・西原村合同講習会

村商工会では毎年、高森町商工会・西原村商工会と合同で、商工会会員を対象とした事業所向けの講習会を開催しています。本年度も計2回の講習会を開催しました。

◆とにかく短時間で「POPが書ける」実践セミナー

昨年11月27日、アソシエート(河陽地区)で「とにかく短時間で「POPが書ける」実践セミナー」を開催しました。

POPメーカーと筆を使って簡単にお店のPR広告を作成する「コツ」を受講。当日は受講者全員が実際にPOP広告作りを体験、実践を用いながら楽しく学ぶことができました。

◆「値引き販売もお願い営業も不要」接客講習会

2月26日、アソシエートで、「リピーターが増え、「ありがとう」と感謝され売れる方法」と題しての接客講習会を開催しました。

サービスも含めて物が売れない時代、値引きやクーポン券に頼ると、どんどん「安売り競争」に巻き込まれてしまうなど、大手企業と同じような販促をするのには負担が大きい小規模なお店や会社が、いかにしてお客さまから選んでいただけるようになるのか、講師の実体験も交えながら、分かりやすく説明をいただきました。午後からの講習だったため、一番眠気を誘う時間帯でもありましたが、講師の先生の飽きさせない工夫もあり、受講者の皆さんも、最後まで熱心に話を聞かれ、実のある講習会となりました。

